



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 エルアイイーエイチ  
 コード番号 5856 URL <https://lieh.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福村 康廣

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 斉

TEL 03-6458-6913

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	15,771	1.0	646		660		762	
2020年3月期	15,935	3.0	199		188		315	

(注) 包括利益 2021年3月期 866百万円 ( %) 2020年3月期 629百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	10.18		24.2	11.4	4.1
2020年3月期	3.69		9.2	3.6	1.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,815	3,545	61.0	47.34
2020年3月期	5,195	2,753	53.0	32.14

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,545百万円 2020年3月期 2,753百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	793	10	37	2,174
2020年3月期	461	115	949	1,407

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		1.00	1.00	74		2.5
2021年3月期		0.00		2.00	2.00	149	18.3	4.7
2022年3月期(予想)		0.00		2.00	2.00		19.7	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,361	8.7	251	2.6	248	10.9	245	35.1	3.28
通期	17,570	11.4	765	18.3	757	14.7	757	0.6	10.11

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社なごみ設計

(注)株式会社なごみ設計につきましては、2020年4月1日に保有株式の全てを譲渡したため、第1四半期会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2021年3月期	74,903,800 株	2020年3月期	74,903,800 株
2021年3月期	8,261 株	2020年3月期	8,097 株
2021年3月期	74,895,594 株	2020年3月期	85,669,972 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	883	46.2	508	116.5	523	107.8	617	
2020年3月期	604	18.3	234	30.1	251	27.8	441	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	8.24	
2020年3月期	5.15	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年3月期	3,457		3,207		92.8	42.83		
2020年3月期	2,848		2,561		89.9	29.90		

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,207百万円 2020年3月期 2,561百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	466	6.6	239	3.1	251	3.8	251	34.2	3.35
通期	932	5.4	489	3.7	513	2.0	474	23.0	6.34

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 事業などのリスク .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が国内外の経済に大きな影響を及ぼし、かつ長期化していることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては引き続きこれまでの、成長性と安定性を重視する事業ポートフォリオの構築に傾注して、注力する得意分野におけるマーケティング力を強化して優位性ある商品開発に取り組む一方、これまで以上に企業の堅固さと安全性を意識して、一層のコスト節減や経営資源の有効活用に向けた事業の再編を急ぐことといたしました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高15,771百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益646百万円(前年同期営業損失199百万円)、経常利益660百万円(前年同期 経常損失188百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益762百万円(前年同期 親会社株主に帰属する当期純損失315百万円)となりました。

当社グループ企業のセグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

#### (食品流通事業)

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛や、学校休校措置に伴う給食停止等による内食需要の高まりにより来店客数が増加し2020年2月頃から売上、利益ともに伸長しておりましたが、2020年6月以降は売上の伸長率は落ち着きを取り戻しました。

2020年10月以降は粗利率の高い精肉、青果の売上高の増加によって、売上高に対する粗利率の改善につながりました。

その結果、売上高11,799百万円(前年同期比11.0%増)、セグメント利益(営業利益)774百万円(前年同期比38.1%増)となりました。

#### (酒類製造事業)

当事業におきましては、新型コロナウイルス蔓延の影響による経済悪化及び2020年7月の豪雨災害により商品及び資材に被害を受け出荷停止期間が発生し欠品解消に3か月程時間を要した為、売上減少の大きな要因となりました。

カテゴリ別の売上は前年割れが多い中、リキュール輸出においては前年を大きく上回りました。

売上高は前年比で減少しておりますが、徹底したコスト管理による経費削減を実施し、その結果、売上高1,930百万円(前年同期比7.6%減)、セグメント利益(営業利益)154百万円(前年同期比32.7%増)となりました。

#### (教育関連事業)

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言(2020年4月～5月)中は、学校が休校であった為、学校関連の副教材以外の売上については皆無でした。

緊急事態宣言が解除となった2020年6月から休校が解除された事に伴い、学校関連の売上や塾関連の売上についても徐々に戻りはじめ、2020年7月～2020年9月の売上については、前期よりも増加いたしました。

また、前期から継続して取り組んでおります業務の内製化等による原価コストの低減や、一般管理費のコントロールによる経費削減効果が着実に業績に表れてきており、売上高は前年比で減少しているものの、利益を生み出せる事業環境が整ってまいりました。

その結果、売上高1,417百万円(前年同期比20.2%減)、セグメント利益(営業利益)66百万円(前年同期 セグメント損失(営業損失)563百万円)となりました。

#### (その他)

当事業におきましては、その他教育関連事業等を行っており、売上高622百万円(前年同期比8.0%減)となり、セグメント利益(営業利益)25百万円(前年同期比53.1%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計期間年度末における総資産は5,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ619百万円増加いたしました。

これは主として、現金及び預金について766百万円、投資有価証券について135百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金について160百万円、商品について49百万円、有形固定資産について20百万円それぞれ減少したことなどによります。

当連結会計期間年度末における総負債は2,269百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少いたしました。

これは主として、支払手形及び買掛金について211百万円、社債について40百万円それぞれ減少したものの、長期借入金について87百万円増加したことなどによります。

当連結会計期間年度末における純資産は3,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ791百万円増加いたしました。

これは主として、資本剰余金を原資とする配当を74百万円、親会社株主に帰属する当期純利益762百万円及びその他有価証券評価差額金が104百万円増加したことなどによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べて766百万円増加し、2,174百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況は下記のとおりです。

営業活動の結果として獲得した資金は、793百万円(前連結会計年度 461百万円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費109百万円、売上債権の減少額50百万円、たな卸資産の減少額52百万円などであり、支出の主な内訳は、関係会社株式売却益102百万円、負ののれん償却額12百万円、仕入債務の減少額63百万円などであり、

投資活動により獲得した資金は、10百万円(前連結会計年度 115百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出60百万円、収入の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入70百万円などであり、

財務活動により支出した資金は、37百万円(前連結会計年度 949百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入195百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出107百万円、社債の償還による支出40百万円、配当金の支払額74百万円などであり、

## (4) 今後の見通し

今後の我が国経済につきましては、新型コロナウイルス感染症防止対策の実施による実体経済への影響により、先行き不透明な状況は継続するものと思われ、

こうした状況の中、主要な事業についての今後の見通しは下記となっております。

食品流通事業におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大による内食需要の高まり等による売上高の増加は2020年6月頃から落ち着きを見せております。

2021年7月頃には、精肉及び青果の売場をリニューアルし、また、13店舗に鮮魚の売場を新たに設け、大幅な売上高の増加及び利益の増加を目指したいと考えております。

また、2021年4月に食肉卸を主事業とする株式会社エルモアミートを完全子会社化し、当該子会社の業績見通しを考慮した結果、通期の売上予想としましては、前年対比116.4%の13,735百万円程度、セグメント営業利益は対前年対比24.7%の965百万円程度を見込んでおります。

酒類製造事業に関しましては、引き続き酒類の国内市場全体が非常に厳しい状況下にある中で、売上高に関しては当期とほぼ横ばいを見込んでおりますが、2021年4月から収益認識に関する会計基準を適用することにより、100百万円程度の売上減少になる事が予想されます。

その結果、通期の売上予想としましては対前年比94.2%の1,818百万円程度、セグメント営業利益は引き続き営業管理費等の削減の実施等により、前年対比115.1%の170百万円程度を見込んでおります。

教育関連事業に関しましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、依然として先行きが不透明な状

況ではありますが、粗利率の高い商品を主として事業活動を行うとともに、引き続き商品製作の内製化、徹底したコスト管理による経費の圧縮を行い、利益の増加を目指したいと考えております。

また、2021年4月より、現在その他教育関連事業を行っている株式会社創研を教育関連事業に含める予定となっておりますので、株式会社創育と株式会社創研を合算した見通し及び実績対比とさせていただきます。

その結果、通期の売上予想としましては、対前年比98.8%の2,013百万円程度、セグメント営業利益対前年比78.6%の71百万円程度を見込んでおります。

上記の主要な事業の見通しに加え、全社費用442百万円程度を考慮した結果、次期(2022年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高17,570百万円、営業利益765百万円、経常利益757百万円、親会社株主に帰属する当期純利益757百万円を見込んでおります。

## (5) 事業等のリスク

当社及び当社グループの事業その他に関する主なリスクは、以下のようなものがあります。

なお、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであり、当社及び当社グループの事業その他に関する全てのリスクを網羅したものではありません

### ① 経済の動向に関するリスク

当社グループの顧客の主要な市場である地域の経済環境の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。当社グループが事業活動を行う市場において、景気後退により個人消費等が減少した場合、当社グループが提供する製品・サービスの需要の減少や価格競争の激化が進展する可能性があります。このような環境下において、当社グループは売上高や収益性を維持できない可能性があります。

### ② 需要と供給のバランス

需要を超える供給は販売価格の下落を招くため、当社グループが事業を行う市場が供給過剰の状態になった場合、当該事業の業績に悪影響を及ぼす可能性があります。また、当社グループは、需要と供給のバランスを取るため、過剰な設備や陳腐化した設備の処分又は生産調整を強いられ、これにより損失が発生する可能性もあります。

### ③ 製品及び商品の品質に関するリスク

当社グループは厳格な品質管理の下、製品及び商品の出荷を行っております。個々の取引先との規格に従い検査及び出荷を行っておりますが、万一賠償問題につながるクレームが発生した場合、損害賠償の負担だけでなく当社グループの信用の失墜にもなり、業績に影響を与える可能性があります。

### ④ 原材料・商品の調達に関わるリスク

当社グループの事業活動は、第三者による適切な品質及び量の原材料、商品を当社グループに供給する能力に依存しています。供給者が他の顧客を有し、需要過剰の状況において全ての顧客の要求を満たすための十分な能力を有しない可能性もあります。原材料や商品の不足は、急激な価格の高騰を引き起こす可能性があります。当社グループが購入している原材料や商品の価格は変動する可能性があり、価格の上昇は当社グループの製造コスト及び売上原価等の上昇要因であり、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。当社グループは、供給に関連する問題の発生を回避するため供給者と緊密な関係を築くよう努めていますが、供給不足や納入の遅延等の供給に関連する問題を完全に回避できる保証はありません。このような問題が発生した場合、当社グループの事業活動及び業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

### ⑤ 他社との提携に関するリスク

当社グループの事業活動には、他社との業務提携に大きく依存し、パートナーシップが不可欠なものがありますが、パートナーとのコラボレーションが円滑に進まない可能性や、当初期待したパートナーシップによる効果が得られない可能性があります。また、事業展開の過程で相手先が当社グループの利益に反する決定を行う可能性があります。加えて、これらの提携相手先が事業戦略を変更した場合などには、当社グループは提携関係を維持することが困難になる可能性があります。

### ⑥ 訴訟に関わるリスク

当社グループが事業活動を展開する中で、知的財産権、製造物責任、環境及び労務等のさまざまな訴訟の対象となるリスクがあります。重大な訴訟が提起された場合、当社グループの業績及び財務状況が悪影響を被る可能性があります。

### ⑦ 災害、テロ、ストライキ等のリスク

地震等の自然災害、疾病、戦争、テロ及びストライキ等が発生した地域においては、原材料や部品の購入、生産、

製品の販売及び物流やサービスの提供などに遅延や停止が生じる可能性があります。これらの遅延や停止が起これ、それが長引くようであれば、当社グループの事業、財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

⑧ 財務上のリスク

当社グループは、株式等の有価証券を保有しており、これらの有価証券の価格の下落は、当社グループの財政状態や業績に悪影響を及ぼす可能性があります。また、当社グループは、資本市場から資金調達を行っており、金利の変動や信用リスクによる影響を受ける可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,406,862	2,173,397
預け金	822	822
受取手形及び売掛金	931,437	771,434
有価証券	693	1,184
商品	903,420	854,184
仕掛品	70,309	85,003
原材料及び貯蔵品	137,206	110,859
未収入金	39,468	48,625
その他	55,367	49,889
貸倒引当金	△150	△17,414
流動資産合計	3,545,438	4,077,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,456,507	1,459,757
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,137,674	△1,156,710
建物及び構築物(純額)	318,833	303,046
機械装置及び運搬具	854,742	872,789
減価償却累計額及び減損損失累計額	△830,522	△836,179
機械装置及び運搬具(純額)	24,219	36,610
土地	151,148	151,148
リース資産	21,975	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,975	—
リース資産(純額)	—	—
その他	874,797	866,244
減価償却累計額及び減損損失累計額	△755,404	△764,115
その他(純額)	119,392	102,128
有形固定資産合計	613,595	592,934
無形固定資産		
ソフトウェア	6,478	4,567
その他	3,637	3,637
無形固定資産合計	10,116	8,205
投資その他の資産		
投資有価証券	517,628	653,362
敷金	202,188	193,677
出資金及び保証金	174,169	173,767
長期貸付金	2,563	2,563
破産更生債権等	19,447	4,468
繰延税金資産	135,408	118,563
その他	50,528	32,088
貸倒引当金	△75,601	△42,395
投資その他の資産合計	1,026,333	1,136,096
固定資産合計	1,650,044	1,737,235
資産合計	5,195,482	5,815,223



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,152,868	941,181
短期借入金	249,700	238,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	107,656	104,476
未払金	163,061	165,352
リース債務	1,438	956
未払法人税等	10,117	18,356
未払消費税等	79,259	99,007
未払費用	130,427	122,457
賞与引当金	6,428	5,815
返品調整引当金	1,920	1,026
その他	37,680	26,804
流動負債合計	1,980,558	1,763,433
固定負債		
社債	60,000	20,000
長期借入金	238,992	329,516
リース債務	2,355	1,399
繰延税金負債	110	136
退職給付に係る負債	32,323	34,022
資産除去債務	45,526	45,942
負ののれん	75,260	68,663
その他	6,647	6,647
固定負債合計	461,215	506,327
負債合計	2,441,774	2,269,760
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,705,982	2,189,522
利益剰余金	△249,446	954,346
自己株式	△862	△876
株主資本合計	2,555,672	3,242,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,035	302,470
その他の包括利益累計額合計	198,035	302,470
純資産合計	2,753,708	3,545,462
負債純資産合計	5,195,482	5,815,223

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	15,935,406	15,771,050
売上原価	13,016,971	12,275,420
売上総利益	2,918,435	3,495,629
販売費及び一般管理費	3,118,234	2,848,842
営業利益又は営業損失(△)	△199,799	646,787
営業外収益		
受取利息	100	12
受取配当金	299	190
有価証券運用益	—	490
受取賃貸料	27,676	27,344
負ののれん償却額	12,973	12,844
貸倒引当金戻入額	322	—
受取保険金	—	89,047
その他	18,928	10,499
営業外収益合計	60,301	140,430
営業外費用		
支払利息	7,188	6,060
有価証券運用損	360	—
不動産賃貸費用	24,000	24,000
たな卸資産廃棄損	—	73,613
租税公課	3,456	4,586
その他	13,946	18,676
営業外費用合計	48,952	126,936
経常利益又は経常損失(△)	△188,450	660,281
特別利益		
関係会社株式売却益	—	102,908
特別利益合計	—	102,908
特別損失		
減損損失	190,439	—
その他	8,885	—
特別損失合計	199,324	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△387,775	763,189
法人税、住民税及び事業税	11,804	14,932
法人税等調整額	△83,614	△13,972
法人税等合計	△71,810	960
当期純利益又は当期純損失(△)	△315,965	762,229
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△315,965	762,229

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△315,965	762,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△313,721	104,434
その他の包括利益合計	△313,721	104,434
包括利益	△629,686	866,664
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△629,686	866,664
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,000,000	1,940,972	△352,477	△858	3,587,636
当期変動額					
減資	△1,900,000	1,900,000			-
剰余金(その他資本剰余金)の配当		△86,991			△86,991
欠損填補		△418,996	418,996		-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△315,965		△315,965
自己株式の取得				△629,006	△629,006
自己株式の消却		△629,002		629,002	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△1,900,000	765,009	103,031	△4	△1,031,963
当期末残高	100,000	2,705,982	△249,446	△862	2,555,672

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	511,757	511,757	4,099,394
当期変動額			
減資			-
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△86,991
欠損填補			-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△315,965
自己株式の取得			△629,006
自己株式の消却			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△313,721	△313,721	△313,721
当期変動額合計	△313,721	△313,721	△1,345,685
当期末残高	198,035	198,035	2,753,708

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,705,982	△249,446	△862	2,555,672
当期変動額					
減資					-
剰余金(その他資本剰余金)の配当		△74,895			△74,895
欠損填補		△441,564	441,564		-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			762,229		762,229
自己株式の取得				△14	△14
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△516,459	1,203,793	△14	687,319
当期末残高	100,000	2,189,522	954,346	△876	3,242,992

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	198,035	198,035	2,753,708
当期変動額			
減資			-
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△74,895
欠損填補			-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			762,229
自己株式の取得			△14
自己株式の消却			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	104,434	104,434	104,434
当期変動額合計	104,434	104,434	791,754
当期末残高	302,470	302,470	3,545,462

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△387,775	763,189
減価償却費	130,261	109,123
のれん償却額	17,505	7,151
負ののれん償却額	△12,973	△12,844
減損損失	190,439	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△623	17,476
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,945	△612
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△4,861	△894
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	183	1,699
受取利息及び受取配当金	△400	△203
有価証券運用損益(△は益)	360	△490
支払利息	7,188	6,060
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△102,908
売上債権の増減額(△は増加)	△9,637	50,608
たな卸資産の増減額(△は増加)	591,863	52,997
破産更生債権等の増減額(△は増加)	399	—
その他の資産の増減額(△は増加)	104,976	△34,297
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,420	△63,082
その他の負債の増減額(△は減少)	△112,259	△12,121
未払又は未収消費税等の増減額	52,356	24,799
その他	△4,469	△66
小計	475,168	805,584
利息及び配当金の受取額	400	203
利息の支払額	△7,188	△6,060
法人税等の支払額	△6,979	△6,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	461,400	793,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,330	△60,114
無形固定資産の取得による支出	△59,982	—
投資有価証券の売却による収入	1,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	70,382
その他の収入	5,301	361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,012	10,629
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,700	△8,700
長期借入れによる収入	—	195,000
長期借入金の返済による支出	△198,554	△107,656
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
リース債務の返済による支出	△3,398	△956
自己株式の取得による支出	△629,006	△14
配当金の支払額	△86,991	△74,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	△949,250	△37,222
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△602,862	766,535
現金及び現金同等物の期首残高	2,010,547	1,407,685
現金及び現金同等物の期末残高	1,407,685	2,174,220

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社が事業持株会社として、各子会社に対して包括的な戦略の立案及び全般管理を行い、当社及び各子会社において事業活動を展開しております。

当社は、製品及びサービス等の経済的特徴の類似性により事業セグメントを集約し、「食品流通事業」は食品の販売及び種類の小売他を行っております。「酒類製造事業」は、本格焼酎、清酒の製造販売他を行っております。「教育関連事業」は、学校、学習塾向け教材の製作販売及び会場テスト関連業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。



3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	食品流通 事業	酒類製造 事業	教育関連 事業	リフォーム関 連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,635,047	2,090,377	1,777,572	755,280	15,258,277	677,128	15,935,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	167	10,177	29,470	—	39,816	34,917	74,734
計	10,635,215	2,100,554	1,807,042	755,280	15,298,094	712,045	16,010,140
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	560,506	116,070	△563,920	27,508	140,166	53,887	194,053
セグメント資産	1,374,827	1,773,525	638,006	172,795	3,959,155	186,581	4,145,736
その他の項目							
減価償却費	98,238	2,971	18,431	83	119,725	390	120,116
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	34,051	5,140	80,238	—	119,430	1,882	121,313

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他教育関連事業等及び損害保険代理業務等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	食品流通 事業	酒類製造 事業	教育関連 事業	リフォーム関 連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,799,597	1,930,813	1,417,773	—	15,148,185	622,864	15,771,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	6,911	4,499	—	11,436	284	11,720
計	11,799,622	1,937,725	1,422,273	—	15,159,621	623,149	15,782,770
セグメント利益	774,275	154,072	66,454	—	994,802	25,291	1,020,093
セグメント資産	1,350,280	1,816,251	559,518	—	3,726,049	196,771	3,922,821
その他の項目							
減価償却費	84,623	11,125	2,126	—	97,874	1,284	99,159
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	42,836	17,138	14,589	—	74,564	1,467	76,031

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他教育関連事業等及び損害保険代理業務等を含んでおります。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	15,298,094	15,159,621
「その他」の区分の売上高	712,045	623,149
セグメント間取引消去	△74,734	△11,720
連結財務諸表の売上高	15,935,406	15,771,050

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	140,166	994,802
「その他」の区分の利益	53,887	25,291
セグメント間取引消去	△24,043	△6,291
全社費用(注)	△369,809	△367,014
連結財務諸表の営業利益及び営業損失(△)	△199,799	646,787

(注) 当社の総務部門・経理部門等にかかる費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,959,155	3,726,049
「その他」の区分の資産	186,581	196,771
セグメント間取引消去	△130,024	△88,962
全社資産(注)	1,179,770	1,981,364
連結財務諸表の資産合計	5,195,482	5,815,223

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金、投資有価証券等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	119,725	97,874	390	1,284	10,145	9,963	130,261	109,123
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	119,430	74,564	1,882	1,467	—	—	121,313	76,031

(注) 減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	32.14円	47.34円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△3.69円	10.18円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当連結会計年度は潜在株式が存在しないため、前連結会計年度は1株当たり当期純損失であり、かつ、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△315,965	762,229
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△315,965	762,229
普通株式の期中平均株式数(株)	85,669	74,895

## (重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は2021年3月31日開催の取締役会において、以下の通り、株式会社エルモアミート（以下「エルモアミート社」）の株式を取得し子会社化することについて決議し、2021年4月1日付でエルモアミート社の株式を取得し、連結子会社化いたしました。

## 1. 株式取得の目的

エルモアミート社は輸入肉、国産肉の卸会社として長年培った実績があり、当社の食品流通事業が展開する小売スーパー事業の肉の仕入において、エルモアミート社の強みを活かすことができ、小売スーパー事業のさらなる収益拡大を目指してまいります。

また、エルモアミート社においても、当社グループとの連携を強化し、新たな販路の開拓に注力して事業を拡大してまいりたいと考えております。

## 2. 株式取得の相手先の名称

被取得企業の経営者

## 3. 取得する会社の名称、事業内容、規模

- (1) 名称 株式会社エルモアミート
- (2) 事業の内容 輸入肉、国産肉、食料品の販売及び輸送
- (3) 資本金 10百万円

## 4. 株式取得の時期

2021年4月1日（株式取得日）

## 5. 取得した株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- (1) 取得した株式の株 200株
- (2) 取得価額 40百万円
- (3) 取得後の持分比率 100%

## 6. 支払資金の調達方法

自己資金